

2010年度（社）札幌青年会議所

第9回理事会

日時：2010年9月29日（水）

18：30～20：35

場所：札幌第一ホテル

議 事 録

1. 開会 岡澤専務理事
2. JCI クリード唱和 小林理事
3. JC 宣言朗読並びに綱領唱和 荒木副議長
4. 出席者の確認 大越委員長
理事長／玉腰勇吉
副理事長／小澤輝真・白戸君央・北嶋仁
専務理事／岡澤邦幸
監事／荒木健介・鈴木博昭
常務理事／白井晴彦
常任理事／齊藤康二・高橋昭典
理事／伊澤祐輔・齊藤大輔・松井勝史・田中良弘・荒木康充・小田切英樹・小林万記・岸田卓也
オブザーバー／川口淳・田崎秀明・東岳夫・太田富士栄・千葉直哉・竹原慎雅・林将告・大越誠之
欠席者／石田浩士・池崎潤・熱田直樹（道央エリア対応）
5. 議事並びに資料の確認 岡澤専務理事
6. 議事録署名人及び作成者の指名 玉腰理事長
議事録署名人／松井勝史・小田切英樹
議事録作成者／総務運営委員会

7. 理事長挨拶

玉腰理事長

皆さんこんばんは。第9回理事会、沢山のオブザーバーをお迎えして開催できることを心より御礼申し上げます。有難うございます。

先日、北海道地区会員大会が無事に終了し、地区で活躍されている方は、やっと一息付けたのではないかと考えております。この席にも沢山の出向メンバーがおられます。有難うございましたという意味を込め、皆様から温かい拍手をお送りください。

先日、日本ＪＣの事業で人間力大賞がございましたが、沢山のメンバーに出席していただき、無事に終了いたしました。滝川ＪＣから推薦をいただきました佐々木さんが、準グランプリを受賞されました。渡部副委員長、荒木監事、高橋室長が汗をかいて頑張っている姿が、大変印象的でした。

気が付くと第９回ということで、議案を見ていただければお解りになるかと思いますが、１２番協議事項に事業報告書の作成、そして我々が協議する案件として、大きなものではＯＢ予定者を送るタベのみとなっております。私が言いたいことは、皆様お解りのことと思います。もう、最終のゴールを目前に、我々はこれから何をしていかなければならないかという部分に差し掛かっております。理事者、事務局長、委員長の皆さんは、当然のことながら良くご理解いただいていると思います。そんな中でもう一度、私が年当初に掲げた理事長所信を読み直していただいてほしいと思います。各事務局長、委員長が、今年一年こんな運動をするのだと掲げた三点セットを、もう一度見直していただきたいと思います。やり残していることはありませんか。伝え残していることはありませんか。まだ３ヶ月あります。そして何よりも、私が６０周年に向けてより強い組織を作るためにも、一人でも多くの会員を募ろうと、その結果があと１ヶ月で出ます。会議体メンバーは、先日も異業種交流会を開催し、１００名以上の参加者を集め頑張っております。今年、新入会員を預かった事務局長、委員長の皆さんは、どれだけ会員拡大に汗をかくことが出来たでしょうか。そしてその想いを、来年、再来年、委員長をやるであろうメンバーに伝えることができたでしょうか。何度も言っております。貴方は、今まで何人のメンバーを入れてきましたか。今年は、何人のメンバーを新入会員にいただいたのでしょうか。来年以降委員長になるメンバーのために一人でも多くの新入会員に入会して貰う。これは札幌青年会議所のメンバーとして、我々の先人が札幌青年会議所を作った時から唯一永遠にこれからも続いて行く、大変重要な事業であるということを忘れないでいただきたいと思います。あと１ヶ月、私も１０名入会させると言った手前、あと２名何が何でもキットを回収して参ります。もう一度、なぜ仮入会者を募るのか、一人でも多くの仲間との出会いを、そんな気持ちをもう一度抱いていただいて、委員会に持ち帰り一人でも多くの仲間を募るための手助けをしていただきたい。そして理事者の皆さん、三役常任の皆さん、もう一度改めて身の周りから調べてください。些細な情報でもかまいません。会議体に情報をいただければと思っております。おそらく理事会での会議体の最後のお願いです。どうぞよろしくお願いします。

いよいよ明日から全国会員大会です。既に次年度のキャビネット、室長、委員長、スタッフも決まっていると思います。これから三点セット、忙しい日が続く毎日になると思います。そんな中、瀋陽青年団が来札出来なかったという件に関して、昨日、北海道新聞に記事が掲載され、それを受けてＵＨＢが取材に来ました。当初、取材は受けませんというスタンスを取っておりましたが、ＵＨＢから政治のことは関係なく、実際に瀋陽と札幌青年会議所の青年同士が交流を持とうとその事実をクローズアップしたいという申し出だったものですから、次回、瀋陽が来札した際には、必ずニュースに取り上げていただくという条件を付け、同時に札幌青年会議所が来年６０周年を迎えることについてお力をいただくということで、先ほど竹原委員長が対応し、明日、「のりゆきのトークで北海道」で放送

されます。この件を皆様に報告いたします。

そして、11月の行われる世界会議には、86名の登録があることを皆様にご報告させていただきます。見込みを60名とさせていただいたものですから、26名分が足りませんので、本来であれば追加徴収となりますが、2000年の世界会議を開催したこともあり、時の日本JC会頭が上島さんだったこともあって、先輩方に相談した結果、有志の会を作っていただき、御礼もあるので何とかOBとして資金を募ろうということで、特別会員の皆様より寄付をいただいて対応することができました。これは、皆様への報告の義務があると思いましたので報告をさせていただきます。

最後になりますが、残り3ヶ月、されど3ヶ月、最終最後12月31日の除夜の鐘が鳴り終わるまで、2010年度でございます。なんとか、皆さんの気持ち、そしてやってきたことを一人でも多くのメンバーに伝えていただきたいと思いますし、私も最後の最後まで伝える努力をして参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

8. 直前理事長挨拶

皆さんこんばんは。第9回理事会ということでお集まりいただきまして、誠に有難うございます。理事長からもお話がありました通り、北海道地区会員大会留萌大会には、札幌JCのメンバーからも多くの方にご参加いただき、無事終了いたしましたこと心から感謝をしたいと思います。場所も見ていただきました通り、旧工場跡地ということで、全く使用されていないところを22名の留萌JCのメンバーと、地区のメンバーで何とか開催をさせていただいたというところでございます。

最後の卒業式のステージも、理事長もそうであったかと思われそうですが、倒れるのではないかと、松井理事あたりも相当辛かったのではないかなと。誰の為の卒業式であったのかとふと考えながら、ある意味思い出に残る卒業式となりました。

そんな中、本年度は国民意識醸成委員会の津田司君が副委員長で出向しておりますが、彼は非常に地区で頑張っており、今回の地区大会では安倍晋三さんのアテンドからずっと活躍をしていました。今年札幌では、憲法タウンミーティング、また参議院議員の公開討論会と事業も多く、2年目の地区副委員長でありながら、LOMでも副委員長職を全うしており本当に活躍されておりました。このことをLOMナイトで申し上げようと思っていたのですが、バタバタしておりお伝えする機会を逃しましたので、本日本人がいらっしゃいますのでお話をさせていただきました。当日は、時の新入会員の小田切理事に迎えに来ていただき、行った先では田中地区総務運営委員長に迎えていただきました。自分自身では、まだ卒業の気持ちは高まっていなかったのですが、段を降りたときには岡澤専務理事も目を赤くされ、非常に皆に支えられた部分で出来たのだなと改めて感謝をいたしております。終わった後は、オータムフェストということで、西6丁目の会場で朝から晩まで、全く休むことなく動いておりましたら、伊澤理事や熱田理事に声を掛けていただいたり、池崎理事にも大変お世話になりました。

本日、熱田理事に関しましては、大変申し訳ございませんが最後のエリア大会の会議がガトーキングダムであるということで、大事な本理事会に欠席させていただいておりますことをご報告させていただきます。

いよいよ残り3ヶ月ということで、会員拡大も理事長の方からも熱のこもったお話がありました。私も何とか最後、自分自身の弟のキットを人質に預けるつもりで、何名かやっていきたいと思いますし、全力で想いを叶えていきたいと思います。

本年度、北海道地区協議会に出向しておりますと、各LOMで飲酒運転によって役職の方が除名退会となっているとお聞きしております。また、各理事長が様々なところに謝罪に行き、大変苦しい思いをされているLOMも何件か見受けられます。次年度がそろそろ動いているかと思いますが、札幌JCも来年60周年ということで、玉腰理事長はそのため必死に運動を展開しています。60周年に向け、行政を含め様々な団体とも連携していく部分があります。9月ということで各事業も終わり、若干気が緩むという部分もあるかと思いますが、ここにいらっしゃる理事者含め委員長の方々も、是非もう一度襟を正してください。残り3ヶ月、もう一度気を引き締めて、素晴らしいリレーションを含めて、高い位置でバトンを渡していただきたいと思います。

9. 議長の選出

定款に基づき、玉腰理事長。

10. 前回議事録の承認

玉腰理事長

何かございましたら、本理事会終了までに総務運営委員会にお申し付けください。無き場合は、理事会終了をもって承認とさせていただきます。

11. 審議事項

(1) 2010年度(社)札幌青年会議所 八月「子どもの心育成」例会開催報告(案)の件

齊藤室長

資料に基づき説明。

【決算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。

【意見・対応】

伊澤理事

例会後はお世話になった所にお礼には伺ったのでしょうか。

太田委員長

終わりましたすぐにご協力いただいた所にお礼状を発送いたしまして、併せて仮親の方々等には記念品持参かたがたお礼に伺いました。

伊澤理事

この事業を実行するに当たって、沢山の特別会員のご協力があったはずですし、委員長の知らないところで特別会員がかなり動いてくださったということを、直接特別会員から聞いております。特別会員に、改めてお礼に行っていただきたいと思います。打ち上げの

時にも申し上げましたが、１１月のこの時でも良いですし、１２月でも結構です。ちょっと時間をおいた中で、委員長が個人的に、自分なりに検証したいという名目でもってお礼に伺ってはいかがでしょうか。是非お願いいたします。以上です。

【採決】

満場一致で可決。

(２) ２０１０年度（社）札幌青年会議所 ブルーアース基金審査委員会の設営・運営報告（案）の件

齊藤室長

資料に基づき説明。

【意見・対応】

なし。

【採決】

満場一致で可決。

(３) ２０１０年度（社）札幌青年会議所 八月「臨時総会」開催報告（案）の件
白井常務理事

資料に基づき説明。

【決算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。

【意見・対応】

なし。

【採決】

満場一致で可決。

(４) ２０１０年度（社）札幌青年会議所 ２０１１年度（社）札幌青年会議所 会計・上程セミナーならびに正副委員長予定者セミナー開催（案）の件

大越専務理事予定者

資料に基づき説明。

【予算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。

【意見・対応】

なし。

【採決】

満場一致で可決。

(５) ２０１０年度（社）札幌青年会議所 十一月「臨時総会」開催（案）の件

白井常務理事

資料に基づき説明。

【予算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。

【意見・対応】

なし。

【採決】

満場一致で可決。

(6) 2010年度(社)札幌青年会議所 十一月「アワードバンケットならびに新入会員歓迎」例会開催(案)の件

白井常務理事

資料に基づき説明。

荒木副議長

会員拡大に関しましては、前回入会式という文言を、審議上程では新入会員歓迎例会と変えさせていただきますので、その点を汲んでいただければと思います。

【予算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。

【意見・対応】

伊澤理事

一つお願いがございます。新入会員歓迎例会という要素が50%の要素で盛り込まれるという事で、来年玉腰理事長の努力でたくさんのメンバーが入ってくる中で、JCにだらしない人は居ないと言う設営をしていただきたいと思いますし、そこに出席する私たちも先輩として、恥ずかしくない振る舞いをしなくてはなりません。これは、私自身も考えておりますし、実行しなければいけないと思います。理事会構成メンバーも当然そうあるべきですし、ここに出席しているオブザーバーのメンバーにも、是非心がけていただいて、この例会に出席していただきたいです。

玉腰理事長

大変貴重なご意見有難うございます。本来、議長の私が発言するのはいけないのですが、新入会員歓迎例会というのは、大変厳かに、そしてメンバーは凜としている例会です。新たに入ってくるメンバーの手本となるような例会にしていきたいと思います。

【採決】

満場一致で可決。

(7) その他

なし。削除。

12. 協議事項

(1) 2010年度(社)札幌青年会議所 十二月「OB予定者を送る夕べ」開催(案)について

竹原委員長

資料に基づき説明。

【予算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。

【意見・対応】

荒木副議長

例年の流れと同じように感じます。卒業予定者もいますので、なかなか難しい部分もありますが、何か今年は、一つ考えた物があると言う事が見えてこないように感じました。もう少し室の方向性が見えて来れば良いと思います。

竹原委員長

当日のスケジュールについての所に記載させていただいておりますが、現役メンバーによる合唱を行いたいと考えております。本例会では、この合唱はもとより、現役メンバーがしっかりと一体感を持ってこの例会に参画すると言う事を一つ大きなテーマとして考えております。当たり前の事をしっかり行うと言う事を前提に考える事が、本例会では、最も大事だと考えておりますので、思い出に残る例会とするために、現役メンバーが一体感を持って、合唱で感謝の気持ちをOB予定者の方にお伝えしたいと考えております。

齊藤理事

先程の合唱の所ですが、例年懇親会の中でビデオを上映して、その後ビデオの内容を踏まえた上で卒業予定者の思い出にもうひと花咲かせていただくという部分ですが、今回は最後にビデオ上映が来ております。合唱があるために最後になったのでしょうか。

竹原委員長

演出に関わりますのでお答えしにくい部分もありますが、連動した中での設えになります。

小林理事

先程委員長の方から、飲食を共にすると言うお話がありましたが、何か理由はございますか。

竹原委員長

過去には、食事を伴わない特別会員だけの食事といった例会もございますが、そういった場合、現役メンバーが過度にテーブルの周りを配膳の関係で回ると言う事がありますので、あくまでも例会の参加は、特別会員、OB予定者そして現役メンバー、参加対象は平等に行うべきだという特別会員の方からのご意見を背景に、本例会では現役メンバーにも同じく食事を提供させていただきたいという事にしております。

小田切理事

退場の部分ですが、過去に失敗例もございますので、しっかりしていただければと思います。

伊澤理事

一言皆様にお願いがございます。この例会は、卒業予定者の皆様が当事者としてお越しになりますので、このようなフォーマルの席では言いにくい部分もあると思いますが、是非、次の理事会までに、室と言う事で十分に頭を働かせて考えますので、両委員長に意見なり質問なりをどんどんぶつけていただければ幸いです。

玉腰理事長

私も卒業予定者ですから、大変いい辛い所がございしますが、青年会議所に入会して、私が最も思い出にある例会なものですから、何とかOB予定者だけではなく現役も共に涙を流す事が出来るようなストーリー性を持たせていただければと思います。私のイメージでは、合唱についてですが、OB予定者の挨拶が終わってからの方が、涙が出るのではないかと少し思います。大変お話し辛いですが、よろしくお願いいたします。

(2) 2010年度(社)札幌青年会議所 事業報告書作成(案)について

大越委員長

資料に基づき説明。

白井常務理事

こちらの上程書にも記載させていただいておりますが、2010年度の事業報告ですから、先程理事長からご挨拶でいただいた通り、除夜の鐘が鳴っても、その報告書が上がって来ないと言う事が無いように、委員会で締め切りの期限を記載させていただいているのと同時に、事業が終わっている所に関しましては随時アナウンスとして回収させていただきますのでよろしくお願いいたします。

【予算確認】

白井常務理事

勘定科目、金額共に適正に処理されております。

【意見・対応】

伊澤理事

15番、本年度の工夫と期待される効果の所に、ホームページに事業報告書をアップした後、卒業予定者を含めたメンバーにホットメールを配信いたしますと書いてありますが、具体的に何のためにやるのですか。

大越委員長

ホームページにアップするだけでは、毎日のようにご覧になる方と、毎日は見ない方とそれぞれ温度差が生まれてきます。そのような形を起きにくくするためにも、このホットメールを本年度の卒業予定者に配信する事によって、2010年度の運動と言う物を十分周知させていただきたいと思ひまして、このような記載にさせていただいております。

伊澤理事

それであれば、皆様に圧縮ファイルで送るのはいかがでしょうか。

大越委員長

色々な検証は必要かと思いますが、データの部分は私個人の判断では出来ない部分がございますので、検討させていただきます。

伊澤理事

卒業予定者は少し前まで現役メンバーだった訳ですから問題はないかと考えておりますがいかがでしょうか。とにかくお金がかからない話だと思いますので、もう少し検討していただければと思います。

玉腰理事長

この事業報告が、2010年度の総決算でございます。昨年からだと思いますが、対内向けと対外向けがあると思います。特に委員長の皆様は想いの丈を書いていたいただき、今後引き継いでいただきたい気持ちであったり、想いだったりを記載していただければと思います。期日に遅れることのないように私からもお願いしたいと思います。

(3) その他

なし。削除。

13. 報告事項

(1) 2010年度(社)札幌青年会議所 周年事業のあり方についての調査・検証報告について

小澤副理事長

資料に基づき説明。

玉腰理事長

皆様も重々承知されていると思いますが、我々は60周年を迎えると言う事で、これは泣いても喚いても皆様に関係ないと言っても、周年事業が行われます。60周年に限らず今後札幌のためになるようにという想いを持って、本年度は準備委員会も設立した訳です。皆様がどれだけ60周年に対して想いを馳せ、今後行動するかにかかっているのではないかと私は思っております。そんな想いが、きっと強い札幌青年会議所を作っていくのではないかと期待をしております。これから来年に向けて色々な上程も上がってくると考えますし、次年度の想いが込められたそんな素敵な60周年事業が行われると思います。皆様のより一層のご協力とご参加を期待しております。

(2) その他

なし。削除。

14. その他

(1) 仮入会者の登録承認について

荒木副議長

資料に基づき説明。

(2) 会員募集進捗状況

荒木副議長

資料に基づき説明。

川口事務局長

資料に基づき説明。

岡澤専務理事

ご存知の通り残り1カ月となりました。会員拡大の締め切りは、10月31日までとなっております。ここにいる三役、常任はゼロをクリアすることは当然ですが、ここにいらっしゃる理事の方もゼロは是非回避していただきたいと思います。理事者も役員の一人です。メンバーに我々の背中を見せなければこの組織は発展しません。理事者も当事者になり、是非ともキット回収の程、よろしく願いいたします。また、現在130名を切っている組織でございます。次年度の予算も拝見しておりますが、やはり150名以上いなければ非常に予算を考えるのも厳しいのが現状です。今、荒木副議長、川口事務局長からも説明がありましたように、最低でも来年は入会50名以上、出来れば60名の入会が出来るよう、理事者の皆様の協力なくしてこの数字を達成することは出来ませんので、改めて理事の皆様にもお願いしたいと思います。残り1カ月となりましたので、我々役員としても、なんらかの盛り上げ策を考えたいと思います。

(3) 今後のスケジュール

白井常務理事

資料に基づき説明。

(4) その他

白井常務理事

先日の9月3日ですが、札幌JCじゃがいもクラブ50周年記念大会を開催させていただきました。9月の最初で、函館JCの60周年、又その次の日には東委員長の例会と言う事で、多忙の中多くの皆様に参加をしていただきまして、日本JCじゃがいもクラブの役員を含めご来賓の方々を多くのメンバーでお迎えする事が出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。有難うございました。

白井常務理事

10月17日日曜日ですが、毎年恒例となっておりますが、北海道地区協議会LOM對抗戦としまして、じゃがいもクラブの大会を、各地LOMをお招きして、札幌主管のもと、苫小牧のゴルフ場にて開催させていただき運びとなっております。先日メンバーメールではご案内させていただいておりますが、予定100名と掲げているところ、現状40程となっております。この件に関しまして、ゴルフをなさる方は参加をしていただき、他LOMとの交流を深めていただければと思います。まだまだ参加を募集しておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

佐々木直前理事長

前段にお話したとおり、10月24日ガトーキングダムにおきまして、道央エリア大会、アカデミー塾閉校式を開催させていただきます。本年度は、荒木監事が塾長として出向しておりますし、アカデミー塾生として新入会員の皆様が出向されております。是非、札幌JCのメンバーが一人でも多くご参加いただければと思います。10月1日が締め切りになりますので、よろしく願いいたします。

高橋室長

１０月１３日開催予定のＪＣメンバー資質向上セミナーにつきまして、千葉委員長からご報告とお詫びをさせていただければと思います。

千葉委員長

理事会開催中の貴重なお時間をいただきまして有難うございます。本日は、私の方からご報告とお詫びをさせていただきます。当委員会で担当しておりますセミナーの件、最後に１０月セミナーを予定しております。当初産業振興センターにて行う予定でしたが、当委員会の不手際により、会場変更と言う事で、札幌市教員文化会館の研修室にて行う事になりました。これは、全て委員長である私の責任でございます。１０月セミナーは最後の集大成として行う予定であるにも関わらず、このような形になった事を、深くお詫び申し上げます。今現在１０月セミナーに向けて設営しておりますので、本日理事者の皆様にご承認いただき、１０月セミナーの開催をさせていただきたく思います。本当に申し訳ございませんでした。

岡澤専務理事

千葉委員長から只今ご案内があったように、１０月セミナーの会場が、産業振興センターから札幌市教育文化会館に変更と言う事のご報告とお詫びがございました。本来、このような事はあってはなりません。本日は、理事者の皆様からこの件に関しまして、承認をいただきたいと思います。

１４．監事講評

鈴木監事

第９回理事会、皆様大変お疲れ様でございました。皆様、ＪＣで得ている知識、経験といったものを何かに活かしていращやるのでしょうか。人の時間は、私も、隣に居る高橋室長も、同じ２４時間です。ならば、折角費やしたこの時間を有効にさせていただきたいと思います。

昨日、当社でこんな事がありました。事務所に戻ると事務の女性が電話で問い詰められている様子でして、電話を切ったあと泣き出してしまいました。事の発端は、お客様からいただいたお電話に対して、クレームだったようなのですが、その連携が上手く行かなかったという事でした。すぐにお客様に電話をすれば良かったのですが、その電話が遅くなってしまったことによって、お客様は、私の時間をどうしてくれるのだ、時間を返せ、そういった苦情だったようです。私も途中で電話を代わり、お話を伺いました。その後ご自宅にもお伺いし、色々とお話させていただいたのですが、なかなか立派な考えをお持ちの方でした。が、おっしゃっている事は正しいのですが、それを活かしていないというか、そんなに凄い組織論、様々な事をおっしゃるのならば、この場ではなくて違う場所なのではないかと感じまして、お客様勿体無いですねと、正直に言ってしまいました。この場でこういうふうにお会いしなければ、もっとお客様とは違う関係でお話出来ましたよねと。その時感じたのは、私が一番感じたのは、ＪＣでした。この場でこうやってお話をさせていただく機会をいただきました。これは会社に戻っても、家庭においても、活かさせていただいているつもりであります。是非皆様もここで得たものを、また普段の活動で色々

と得た知識、経験というものを、今後の自分に活かしていただきたいと思います。それこそがきっと、こうして集っている意味なのではないかと思います。

全く理事会の話とは関係ない話でございますが、以上簡単に監事講評とさせていただきます。有難うございました。本日はお疲れ様でした。

荒木監事

第9回理事会、お疲れ様でございました。今日ちょっと気付いたことがございまして、本年度の理事会で、私の記憶に間違いが無ければ、持ち込み上程というものが今の所無いのではないのかと思います。これは当たり前的事ではあるのですが、当たり前といいながら過去数年どうだったかと言いますと、一度も持ち込み上程が無かったという年度はおそらく無かったと思います。これも岡澤専務理事の指導力と、各ライン、事務局長、委員長の意識の高さの表れなのではないかと思いますので、敬意を表したいと思います。当然、持ち込みしないということが何故重要かという事は皆様もご承知の通り、理事会において活発な議論がなされるべきであるという所であります。私は幸いな事に、執行部側の席にも、理事者側の席にも座らせていただいた経験がございますので、その経験を踏まえて申し上げるならば、やはり執行部側は理事会において理事者の方々から厳しい意見が出ることに恐れてはいけないというように思います。やはり、議案をより高め、より良い事業、より良い運動に発展させて行くために、色々な角度から見ていただくということが必要な事であると思います。

私の仕事についてたまに言われるのは、誤解があるのか、黒いものを白くするとか、白いものを黒くするとか、そういう事ではなく、私が思っている私の仕事のあり方というのは、物事が一つの角度から光が当たっていると、ある一定の形にしか見えないものでありますが、それを別の角度から光を当ててみると、実はこういう形をしていたのだという事に気付くことがあると思います。そのままでは一方からしか光が当たっていないというものを、別の角度から、こういう見方もあるのではないのかというのを示していくことが、一つ私たちの仕事のあり方なのではないかと思っている訳です。理事会にも同じことが言えると思います。どうしても執行部サイドは、自分たちがやろうとしている事に入り込んでしまいますので、一歩引いた目線で、理事者の方々から、そうは思わないという意見が出るのが、非常に健全なのではないかと思う訳です。

また、理事者の立場に立った時、2008年度ですが理事会の議事録を見ていただくと、お恥ずかしい限りで、私も随分敵を作らないように発言をしてしまっていたものですから、非常にぬるい理事者であったと反省しております。やはり理事者として、より良いものを作り上げていくために、遠慮なく切り込んでいくべきであると思います。そういう意味でいけば、前回私が事業報告の上程につきまして事業計画と同じくらい報告上程に力を入れて作り上げて臨んで欲しいという事を、事務局長、委員長の皆様をお願い申し上げた訳ですが、是非理事者の皆様におかれまして、報告上程に対して、事業計画の上程を審議する時と同じくらい厳しい目線でしっかりとした検証、検討がなされているのかという事をチェックしていただく必要があるのではないかと思います。

残り3回の理事会ですが、その3回の理事会、そして10月からは次年度の理事予定者

会議も始まります。次年度以降の理事会がますます活発な議論がなされる素晴らしい理事会となることをご祈念申し上げ、監事講評とさせていただきます。有難うございました。

15. 次回理事会開催の確認

平成22年10月25日18:30より

会場：札幌第一ホテル

16. 閉会

議事録署名人 松井 勝史 _____

議事録署名人 小田切英樹 _____